

令和5年度

第321号

おいらせ町家屋経年異動判読調査業務委託

仕 様 書

おいらせ町

「おいらせ町家屋経年異動判読調査業務委託」仕様書

第1条 適用範囲

この仕様書は、おいらせ町（以下「発注者」という。）が実施する「おいらせ町家屋経年異動判読調査業務委託」（以下「本業務」という。）に適用するものである。

第2条 委託業務の主旨

本業務は、固定資産税を管理する上で必要となる家屋情報の経年異動に関する基礎的資料を整備することで、今後の固定資産課税情報の適正な管理を推進することを目的とする。

第3条 委託業務の対象及び内容

本業務の対象及び内容は次に掲げる通りとする。

1) 対象範囲及び数量

- ① 対象範囲：おいらせ町全域（約 71.92km²）
- ② 客体数量：約 17,500 棟

2) 業務内容

① 家屋経年異動判読調査

家屋の経年異動情報を把握するため、家屋図及び2時期の航空写真画像データ（平成28年度撮影成果及び令和4年度撮影成果）を用いて家屋形状の比較を容易に判定できるシステム（異動判読システム）を用いて、差異が生じた家屋情報の抽出を行う。なお使用する異動判読システムは、おいらせ町と同等規模以上の自治体が発注した業務で使用実績があるモデルを使用すること。

② 家屋外形修正

判読調査の結果、経年異動が生じた家屋の図形データについて、家屋図データを使用して加除修正を行い、家屋棟番号を付与する。また、作成された家屋外形と今後の作業で必要となる属性データを関連付けができるよう構造化データファイルを作成する。

③ 家屋課税台帳照合

修正した家屋図データと家屋課税台帳の棟番号をキーとして照合を行い、課税台帳との照合の結果、不一致と判定されたものに対して、机上での調査を実施する。なお、調査する項目については、発注者と受注者が協議の上で決定する。

④ 判読結果表示図及び一覧表作成

家屋経年異動判読結果を異動判読一覧表（集計表）としてとりまとめを行う。また、家屋図データを利用して異動判読結果を GIS 上で判別可能なようにフラグ（記号）付けを行い、家屋図データとは別レイヤとして家屋経年異動表示図データ（Shape 形式）を作成する。なお、判読内容及び GIS 上の表記・集計方法については、発注者と受注者が協議の上で決定する。

⑤ 打合せ協議

着手時及び納品時の計 2 回を予定する。

第 4 条 資料の提供

本業務を遂行するにあたり、発注者が貸与するデータは次に掲げる通りとする。

なお、次に掲げるデータ以外に必要なデータ等が生じた場合は速やかに監督職員と協議する。

- (1) 航空写真データ（H28 年度及び R4 年度撮影〔DMC II〕成果）（TIFF 形式）
- (2) 地番家屋図データ（Shape 形式）
- (3) 土地家屋台帳データ（CSV 形式）

第 5 条 履行期限

履行期限は契約の締結翌日から令和 6 年 1 月 19 日（金）までとする。

第 6 条 成果品

成果品は下記のとおりとする。

- | | |
|---|-----|
| (1) 家屋経年異動表示図データ〔Shape 形式及び PDF 形式〕（CD-ROM 等格納） | 1 式 |
| (2) 家屋経年異動表示一覧表〔Excel 形式及び PDF 形式〕（CD-ROM 等格納） | 1 式 |
| (3) 家屋図データ（図形更新済み）〔Shape 形式〕（CD-ROM 等格納） | 1 式 |
| (4) 業務報告書（ファイル綴り） | 1 式 |

第 7 条 疑義

本仕様書に定めのない事項及び本業務の遂行上疑義が生じた場合は速やかに監督職員と協議する。